

1. 件名：「Gesellschaft für Nuklear-Service mbH 特定兼用キャスクの設計の型式証明申請に関する面談について」

2. 日時：令和3年4月15日 11時00分～11時30分

3. 場所：原子力規制庁 9C階会議室

4. 出席者：

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

岩田安全管理調査官、立元管理官補佐、中野上席安全審査官、深堀上席安全審査官、松野上席安全審査官、石井主任安全審査官、佐藤係長、田澤審査チーム員

伊藤忠商事株式会社（※）

金属カンパニー 金属資源部門 石炭・原子燃料部 部長代行 他1名

※伊藤忠商事株式会社（以下「伊藤忠（株）」という。）は、申請者である

Gesellschaft für Nuklear-Service mbH（以下「GNS社」という。）

の正規代理として出席。

5. 要旨

（1）伊藤忠（株）から、令和3年3月12日付けでGNS社から申請のあった発電用原子炉施設に係る特定機器である特定兼用キャスクの設計の型式証明申請について、本日提出のあった資料を用いて、審査対応準備状況の説明があった。

（2）これに対し、本件については令和3年3月に申請がなされているが、これまで審査会合に向けたヒアリングの準備が整っていないことを踏まえ、原子力規制庁から、以下の事項を伝達した。

○GNS社の審査対応体制の整備、及び、本件申請内容に係る事実関係確認のための初回の事務局ヒアリングの準備を行ない、ヒアリングの申入れ日程を検討すること。

（3）伊藤忠（株）から、GNS社に伝達する旨、回答があった。

なお、本面談については、事業者から対面での面談開催の希望があったため、「緊急事態宣言解除を踏まえた原子力規制委員会の対応について」（令和3年3月24日第67回原子力規制委員会 資料1）を踏まえ、対面で実施した。

6. その他

提出資料：

・今後の型式証明申請に係る申請者の体制について

以上